

# 佐渡航路活性化協議会

平成20年5月13日設立 平成21年3月25日連携計画策定

佐渡市、新潟県、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(社)佐渡観光協会、北陸信越運輸局、新潟市、利用者の代表

## 佐渡航路地域公共交通総合連携計画の目的

佐渡を訪れる観光客は、平成3年の約120万人をピークに年々減少しており、平成21年には約60万人と減少している。この観光客入込数の落ち込みは、航路運営にも大きな影響を与えている。そのため、平成20年に「佐渡航路活性化協議会」を設立し、地域公共交通総合連携計画策定の調査を実施の上、特に重要な施策について「佐渡航路地域公共交通総合連携計画」としてとりまとめ、①佐渡の観光振興に資する『船旅』の魅力アップ、②多様なニーズや利用者に対応したサービス充実により、佐渡航路の利用客を増やし、同航路の活性化・再生を図ることを目的とする。

## 総合連携計画に定める事業の概要

### 1) 佐渡航路地域公共交通利便性向上プロジェクト

- ① 臨時便等運航事業（臨時便等の効果的なPR）
- ② 車両航送等の運賃多様化事業（運賃多様化の推進）

### 2) 航路のおもてなし向上プロジェクト

- ① 乗船券予約販売システムの自動化（自動券売機、自動改札機、予約システム）
- ② ツアーデスク環境整備事業
- ③ フェリー船内の専用エリア設置事業
- ④ 1等船室の魅力アップ事業
- ⑤ 船内イベントの実施事業
- ⑥ 特定客をターゲットにした企画運営事業
- ⑦ タイムリー企画運営事業
- ⑧ イベント舞台環境整備事業

### 3) 県民誘客プロジェクト

- ① 新潟県民向け佐渡航路利用の新たな旅行商品メニューの企画造成事業

### 4) 佐渡航路情報発信プロジェクト

- ① 関連イベントへの参加、誘致事業



※船内イベントの実施事業（佐渡おけさの講習）



## 平成21年度実施事業（例）

※乗船券予約販売システムの自動化（多機能型自動券売機）



※情報提供機器（電光掲示板）の改善事業（デジタルサイネージ）

